



世界に希望を生み出そう

2023~2024

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 柳澤 講次 幹事 藤掛 誠一郎
 広報・雑誌・会報委員長 野崎 修

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう R.I. 会長 ゴードン・R・マッキナリー



第 2695 回例会 No.25
 2024年(令和6年)2月16日(金) 晴
 「奉仕の理想」

出席報告

会員 61 名中 47 名 出席率 77.05%
 ○ビジター 名古屋空港 RC 伊東 由之君
 ○スピーカー プロキャディー 杉澤 伸章氏

会長挨拶

会長 柳澤 講次君



みなさんこんにちは、
 今週は I M を含めるとミーティングが 2 回ある週です。一昨日の I M は一応全員参加登録をしておりますので、席はほぼほぼ中央真ん中で、キープしてありみなとの座席位置がパンフに載っている

ので、幹事と二人で、空席を気にしていましたが、まあまあかっこがつきほっとしました。

講演会は富山和彦先生の「GとLの経済再生侵略」とのテーマで最初は難しそうな話で眠くなりましたが、うとうとしながらも聞いていると「変化への対応」についての部分になってくると、目もしっかりさめ 今まで自分なりの変化の対応はしてきたつもりでしたが、あまかったと反省する部分が多くありました。この年になってもまだまだ勉強をしなければいけないことを痛感させられました。とそんな非常に有意義な I M でした。

さて今日はプロキャディーの杉澤先生に卓話をしていただきます。私はゴルフをやらないのでよく理解できていませんが、キャディーさんの役割はプレーヤーにとって非常に奥深く重要な役割を持っていると聞いています。超一流のプレーヤーのキャディーをつとめた先生より、一流プレーヤーとどんなところが我々凡人と違うのか、聞けることを楽しみにしています。宜しくお願いします。

ニコBOX

(IM ご苦労様でした。杉澤先生、卓話よろしくお願ひします) 柳澤会長

(中村君、先日はご馳走頂きありがとうございます。杉澤伸章さん本日の卓話よろしくお願ひいたします)

藤掛幹事

(中村君、先日の何でもやってみる同好会、釣り部会新年会ではお世話になりました。2 次会ではごちそうになりました。ありがとうございます) 三枝樹君

(杉澤様今日はおこし頂きありがとうございます。卓話宜しくお願ひします) 野崎君

(前回 10 年の表彰ありがとうございました)

加藤(嗣)君

(先日の IM で司会をさせて頂きました。多くの皆さまがご心配されていたのでお答えしますと、ギャラはちゃんと頂いておりますのでご安心ください)

橋本(美)さん

(中村君、先日はごちそうになりありがとうございます。たいへん楽しい時間でした) 野村君

(中村君、先日はごちそうになり有り難うございました。妻に立派な蘭を送っていただき有難うございました。大変喜んでおりました)

大矢君

(中村君、先日はごちそうになりありがとうございます)

林君

(遅刻しました。すみません)

市野君

本日合計	22,000 円
累 計	1,312,620 円

1. 一昨日 2 月 14 日は西名古屋分区 I.M に 33 名が出席されました。参加した会員の皆さん、大変お疲れ様でした。途中で帰る方がほとんどいなかったことが大変良かったです。今回欠席された会員は、メイクアップをお願いします。
2. 5 月 11 日(土)に開催される RFF (ロータリーフードフェスティバル) の例会時間が朝 10 時~15 分間となりました。皆さんのご参加をお待ちしております。
3. 先週行われました理事会の報告です。
 - ①クラブ戦略委員会改定案について、棚橋会長エレクトから、クラブの中長期課題を整理・改善していくために、現構成メンバーではなく、会長経験者で委員長を決めて、2 年任期で専門的に話し合える委員会にしたいと提案があり、3 月理事会で決議します。
 - ②能登半島地震について、義捐金はしばらく継続します。金沢みなとロータリークラブと連絡を取り合い、今年度、また来年度以降もどうするかを決めていきます。
 - ③ランドセルプロジェクトについて、現在 8 個確保しましたが、まだまだ集めたいので皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。その他は Weekly を参照してください。
4. 受付締め切りのご案内です。守山ロータリークラブ 60 周年記念特別公演は 19 日(月)、ロータリー手帳申し込みは 20 日(火)、地区研修・協議会の出欠返信は 22 日(木)が締切です。早めの回答をお願いします。
5. ロータリーバッジの販売価格が 1,000 円から 1,300 円に変更になりました。

以上です。

卓話

「プロキャディーに学ぶポジティブ思考法」

プロキャディー 杉澤 伸章氏



今年で、プロキャディー歴 25 年になりました。これまで、たくさんの選手のキャディーをさせて頂きました。丸山茂樹選手や宮里優作選手など、延べ数にして 50 名以上の選手のキャディーをしてきました。良い思い出もたくさん

ありますが、ほとんどが苦い思い出ばかりです。よく辛い思い出の数ほど良い思い出をしますが、その言葉は適切ではない気がします。

私が感じているのは「数」でいうと圧倒的に苦い思い出になります。それでも、振り返ると良い人生だと私は思っています。なぜでしょうか？ それは、良い思い出の 1 回は、苦い思い出の 100 回と比例するくらい、良い思い出の印象が強いのです。嬉しい事があるとあんなに辛かったと感じていたことも、忘れる事ができるのですね。

さて、私達キャディーのお仕事のご紹介をします。月曜日はコースチェック、火曜日は練習ラウンド、水曜日はプロアマ、木曜日~日曜日は試合、日曜日の夜は次の会場に移動です。

月曜日は、一人でコースを歩き戦略を考えます。選手の持ち球や調子などを考えて、選手になったつもりでコースと向き合います。特に、起きそうなミスを想定します。失敗をする前提として、失敗して良い方向やバンカー、絶対にしてはいけない失敗は何か？などを考えながら歩きます。例えば、中日クラウンズが行われる和合コースの 1 番ホール。右のラフは失敗しても良いが、左のバンカーや林に入れてはいけない。バンテリン東海クラシックが行われる三好カントリー倶楽部の 1 6 番パー 3 は、左の崖は絶対にしてはいけない失敗です。右のバンカーはむしろ狙い目となります。

火曜日は、選手と練習ラウンドをしながら、月曜日の情報をアップデートします。私は 3 ウッドで守りのマネジメントと感じたホールでも、選手が、「構えやすい流れを作りたいからドライバーで行く」となれば、そこはドライバーでのティーショットを選択します。このとき、1 8 ホールのティーショットのクラブが決まれば OK です。木曜日からの試合の当日にバタバタしないよう、ある程度の戦略を立てます。

水曜日は、プロアマ。スポンサー様方と楽しいラウンドをします。そんな中、昨日決めた戦略を見直ししながらホールを消化します。選手たちは、この地点で風向きが変わった場合、ピンのポジションが難しい場合、優しい場合など、色々なことを想定し始めています。

そして、木曜日から試合開始です。ここからは、基本的な戦略を持ちつつも、状況によって臨機応変にマネジメントしていきます。特に初日は、丁寧にプレーをします。練習と試合では全く違う雰囲気になります。

よくアマチュアの方が、練習場とコースでは違うと言いますが、プロも同じような現象は起きます。そのギャップをなるべく小さくするために私達キャディーはいるのだと思います。スタート前の状況から選手の状態を把握します。なんだか浮かぬ顔しているなとか、逆にテンション高すぎるなとか、練習場で良い球が出ているなとか、逆に全く思うようなスイングが出来ていないな、など、選手の絶好調が 100% だとしたら、精神的、技術的、それぞれ何%の状態かを把握します。この時に、何かかわかったら、第三者が、それを 100% に近づけようとすると思いますが、私

は、その状態のままで良いと思っています。(厳密には今はその状態で良い) なぜなら、選手は本能的に100%に戻そうとするからです。そこで第三者が追い討ちをかけたら、選手はオーバーヒートしてしまうと思います。とはいえ、何もしないのも存在理由がないので、キャディーとしてすることは、まずは、自分自身が【良い状態】でいることを心がけます。その上で、なんでも話をして大丈夫だよ。という【オープンな状態】を作ります。そうすると選手は、話しかけてきます。最初はゴルフ以外のこと、徐々にゴルフのこと、などなど、会話の内容はなんでも良いのです。とにかく話をすることで自分の声を耳で聞き「気づき」が生まれるのです。自分自身が自分自身の良い状態になるためには自分自身の気づきや感覚が必要です。人にいろいろ言われたからと言って調子上がるわけではないと思います。

ちなみに、スタート直前が何%かを把握出来たら、そのパーセンテージの中でベストを尽くす戦略を考えます。例えば、50%の場合、50%の状態で作れる戦略を立てます。例えば、ピンまで残り150ヤード、絶好調ならピンから4.5メートル以内を狙います。しかし、本日は50%なので、9メートル以内で良いわけです。その時、同じ9メートルでもグリーン上とグリーン外があるので、グリーン上の9メートル以内を狙います。そうすれば、調子が違ってスコアに大きな変化は起きません。

僕は「言う」のではなく「聞く」ことこそがアドバイスだと思っています。あの人も良いアドバイスくれるよなーという方を想像してみてください。何人かはいるはずですが、そういう方は、基本、聞き上手じゃないですか？

最後にポジティブ思考の話です。ここまで私が話をして来たことは、基本「準備段階」の話です。つまり、ポジティブにいるためには、どれだけ準備が出来ているかということです。その準備力を上げるコツは、「ネガティブになる事」です。ネガティブになればなるほど、心配事が増えます。そうすれば、あれもこれも調べておこうとか、持っていこうとか、練習しておこうとなります。ネガティブになる事をマイナスに捉える方も多いと思いますが、【ネガティブこそがポジティブの親】だと思います。私が経験して来た選手は、準備力をとても大切にしていました。あらゆる失敗を想定して試合に挑んでいます。アマチュアでもしないようなミスも、もし出たらどうする???など、常に想定しています。

ポジティブな状態を「どんな時も冷静」という言葉に置き換えた時、なぜそれが出来るのかも同じ理由です。冷静でいられる理由は、どんな失敗も、想定内にあるからです。そして、その際の対応策を検討済みであることから、冷静に対応出来るのです。それでも世の中絶対大丈夫はないです。なので、ある程度準備出来たら、実戦に挑み、あとは臨機応変に対応するという柔軟性が必要です。その実践で得た経験を、次のネガティブ要素にして、研究していくことの繰り返しだと思います。

ゴルフはどんなスポーツか聞かれたら、私は、「リカバリーゲーム」だと答えます。つまり、失敗が前提にあり、それをリカバリーしていくことでスコアを作ります。その状態を楽しみと思えるようになるまで、しっかり準備をする事をお勧めします。

今日のお話が、スタート30分前にコースについて、練習せずにスタートして、首を傾げているアマチュアの方に届けば嬉しいです(笑)

F グループ家庭集会報告

と き 令和6年2月16日 18:30~
ところ ホテルオークラレストラン名古屋
「中国料理 桃花林」
名古屋市東区東桜1丁目14-25
テレビア 14階

出席者 リーダー 棚橋
サブリーダー 中井(報告者)
岡本、菅、橋本(修)、渡邊、野村、
嶋田、大野

9名(敬称略)

棚橋リーダーから家庭集会の意義をお話いただき、岡本君の乾杯のご発声で開催しました。名古屋みなとロータリークラブ特注の「ナガセスペシャル」で美味しい食事を堪能し、リラックスした雰囲気先輩方々から世代問わず交流していただき、大変楽しい会になりました。

また渡邊君からは現在の会員で、より絆をつくることが大事ではないかとの貴重なご意見もうかがえ充実した時間を過ごせました。

最後は菅君の締めのご挨拶で全委員笑顔の中、終了しました。





1. 帰宅困難な男性を保護した米山学友に感謝状

秋田県内の80代男性を保護したとして、1月18日、秋田臨港署からパングラフェ出身の米山学友であるカビール・ムハムドゥルさん(1998-2000/秋田北RC)へ感謝状が贈られました。



感謝状を受け取るカビールさん(右)

この日から遡ること約1カ月前、秋田市内を運転していたカビールさんは、雪の積もる歩道を歩く薄着の男性が両手に買い物袋を持ったまま、うずくまるようにしている姿を発見したそうです。すぐに車を止め、「おじいさん、大丈夫ですか。自宅は分かりますか。困っているなら家まで送りますよ」と声をかけ、保護。しかし、自

宅の住所を言えない状態だった男性のことを考え、数十分運転して最寄りの秋田臨港署まで連れて行きました。男性はその後、無事に家族と連絡が取れたそうです。

見知らぬ人に声を掛けるだけでも勇気が必要ですが、自らの車で警察署まで送り届けたカビールさんは今回の件について、「自分の行動によって男性の方が無事に帰宅できて、とても安堵しています。困っている人がいれば皆で協力し合い、より良い社会を目指せたらと思います」と述べました。

2. 米山学友から能登半島地震へ多額の義援金

2024年1月1日に発生した能登半島地震に対し、多くの米山学友から義援金が届いています。1975年以前に日本へ留学していた米山学友を含むベトナム人グループの方々からは、合計1,907,841円という高額の義援金を送金いただきました。

義援金の募集に際し、米国在住のジェン・アン・トンさん(1973-74/総務RC・1974-75/甲府北RC)のグループと、日本在住のファン・マン・カーさん(1974/仙台北RC)の2つのグループが取りまとめに動いてくださいました。

ジェン・アン・トンさんからは、「米山学友を含むベトナムの元留学生たちの心がかもった義援金です。日本へ留学した経験を持つ私たちは、それぞれ異なるバックグラウンドを持ちますが、今回起きた地震で被災した方々を支援するため一致団結しています。私たちの思いは、被災した方々の生活を少しでも楽にし、復興への道

りを支援できると信じています。能登半島、頑張れ!!」という、力強いメッセージも届いています。

台湾米山学友会からは、地震発生後まもなくして支援の申し出があり、理事長の林志昇さん(1992-94/津RC)と、幹事長の張適嵐さん(1997-98/杵築RC)が中心となり、学友に呼びかけを行いました。張さんの「真冬の地震発生に、過去の台湾での地震を思い出し、いともたつてもいられませんでした。今回のような能登半島の大きな被害に対し、義援金を送ることしかできないことがとてももどかしいです。被災された方々が一日でも早く元の生活に戻れることを願っています」という温かいメッセージとともに、同校友会から義援金として100万円が届きました。

お預かりした義援金は、当会からまとめて被災した地区へ送金する予定です。学友の皆さんの思いに改めて感謝申し上げます。

3. 寄付金速報 — 2024年は緩やかにスタート —



1月末までの寄付金は前年同期と比べて3.0%増(普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:5.1%増)、約3,200万円の増加となりました。

クラブ会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。例年1月は、普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付)の下期分の納入が主となります。2月も引き続き、皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 「再会 in 関東」フルバージョン 動画公開

米山記念奨学会では、公式YouTubeチャンネルにて、当事業に関する動画を随時公開しています。今回新たに、昨年8月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」のフルバージョン(約21分)を公開しました。過去最大の1,000人以上がづくばに集結した規模に密着しています。大いに盛り上がった4年ぶりの世界大会の様子を、ぜひご覧ください。ご希望があれば、動画ファイルをお送りすることも可能です。広報担当までご連絡ください。



5. 能登半島地震を経験した奨学生

第2610地区の現役奨学生である張善恵さん(2023-24/金沢RC)は、中国語の発音から「タロちゃん」という愛称で呼ばれており、実家から持参した普洱茶を振舞ったり、母国の文化について伝えたりと、クラブの方々と良い関係を築いているそうです。



クラブ例会で話をする張さん

生じた直後、これまでの経験を生かし安全の確保、電波の確認などを速やかに行いつつ、津波に備えるため山向へ避難したそうです。

母国と日本での経験を比較してみると、日本の建物の方が揺れは大きいと、防炎教育が浸透している、津波への備えがあることを感じたそうです。

来日して初めての地震を経験する奨学生や学友たちに向けては、「油断や焦りは薬物です。余震・土砂崩れ・火災などの二次災害には特に気を付けてください。心理状態を安定させるために、マイナスな情報ばかりを得ないようにすることも、自分を守るために大切です。もし女性一人で避難する状態であれば、身の安全の確保には細心の注意を払ってほしいです」と、これまでの経験を基にアドバイスを送りました。

月	日	今後の例会予定
2	23	例会変更 西名古屋分区 IM 2/14(水)
3	1	港友例会 新入会員自己紹介 大野 正博君 17F「コスモス」
	8	卓話 名古屋中央 RAC 代表 会長 大坪 和樹君 17F「コスモス」
	15	休会
3	22	卓話 元 JAL 機長 (神奈川工科大学教授) 丸山 佳男氏 17F「コスモス」
	29	卓話 株式会社 FM BIRD 代表取締役 長倉 シュタッフ 牧子氏 17F「コスモス」
4	5	港友例会 新入会員自己紹介 嶋田 憲三君 17F「コスモス」
	12	創立 58 周年記念例会 (Partner's Night)
	19	例会変更 RFF 5/10-11 (5/11 会場で例会)
	26	休会